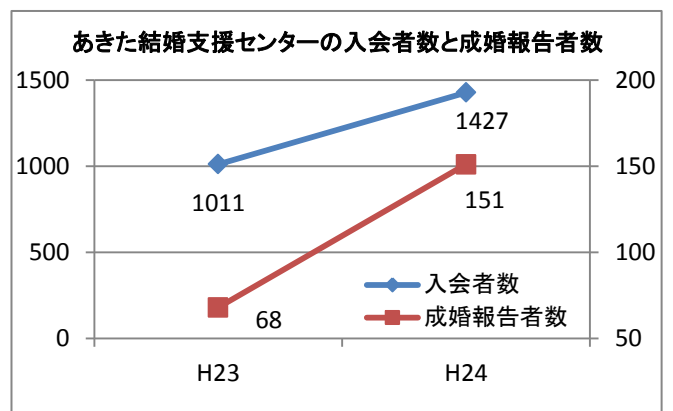
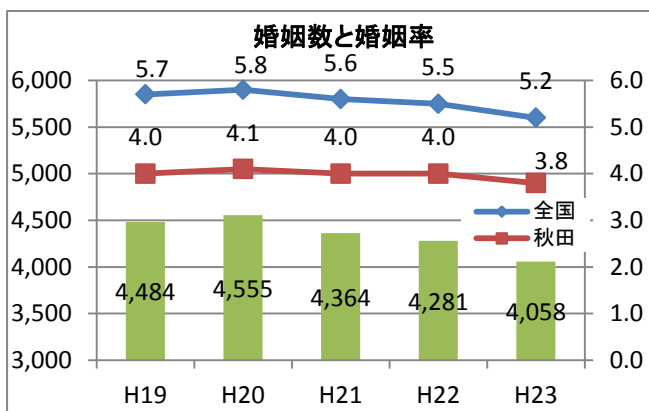
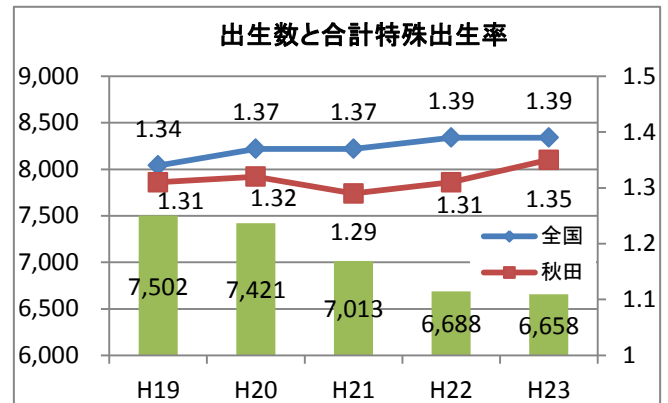


# 【県民参加による脱少子化戦略】

## ●戦略の目標

### ◆年間の出生数 (単位:人)

	基準値(H20)	H22	H23	H24	H25
目標値	7,421	7,350	7,450	7,650	8,000
実績値		6,688	6,658	—	—



※H24は11月15日現在

## 戦略の達成度に関する分析

### ○現状及び増減の要因

「若者の県内定着」から「出会い・結婚支援」、「出産・子育て環境の整備」まで総合的な対策を実施しているが、これまでの若者の県外流出により、親世代の人口割合（20～39歳）が全国に比べて小さくなっていることに加え、未婚化・晩婚化も進んでおり、「年間出生数」は、年々減少している。

こうした中、平成22年から平成23年の減少数は30人、減少率は0.4%にとどまった。

※全国の減少率は1.9%、東北の減少率は4.1%となっている。

また、「合計特殊出生率」は、全国的には横ばい傾向にあるが、本県は平成23年で1.35と前年より0.04ポイント上昇し、全国一の伸びとなった。

一方、「婚姻数及び婚姻率」は、平成20年度に一時増加したものの、それ以降は減少傾向が続いている。

### ○今後の本県の見込み

県民運動の母体となる「ベビーウェーブ・アクション」の立ち上げや「あきた結婚支援センター」の開設など、少子化克服に向けた仕組みは整いつつあり、特に、今後の出生数増加につながる出会い・結婚支援については、平成23年4月に開設した「あきた結婚支援センター」の入会者数が、目標を大幅に上回る1,400人を超え、成婚報告者数も150人を超えるなど順調に推移している。

今後とも総合的な少子化対策に継続して取り組んでいくことで、徐々に効果が現れてくるものと考えている。